

リーディングDXスクール事業【実践事例】

喬木第一小学校

【取組内容②③】「端末の持ち帰りによる授業と家庭学習のシームレスな接続」

6年生

自 [] さんが新しい課題を投稿しました: 社会「世界に歩み出した日本」

投稿日: 2023/12/19 (最終編集: 1月9日)

単元の学習問題

不平等条約の改正を目指したり日本の世界での地位を上げていったりするなかでどのような努力をしてどのように変わっていったのだろうか。

0 提出済み
26 割り当て済み

単元の学習計画を事前に提示

<学習計画>

- ① 産業の発展
- ② 日本を世界の国の関係
- ③ 日本の国際的地位の向上
- ④ 発展による人々の生活や社会の変化

<第1時> https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005120220_00000
00:00~05:33

日本は欧米のような近代的な国づくりをするためにどのように産業を発展させ、その結果どのような変化があったのだろうか。
教P118,119 資P104 ドキリ

<第2時>

中国とロシアとの戦争によって日本と世界の国々との関係はどのように変わっていったのだろうか。
教P120,121 資P102,103

<第3時> https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005120220_00000
05:34~10:00

世界のなかでの日本の国際的地位はどのように変わっていったのだろうか。
教P122,123 資P102,103

本時に入る事前学習として、HNK for Schoolの動画や教科書・資料集から、課題に対する情報の収集・整理までを家庭で行ってくる

家庭学習の範囲

日本は欧米のような近代的な国づくりをするためにどのように産業を発展させ、その結果どのような変化があったのだろうか。

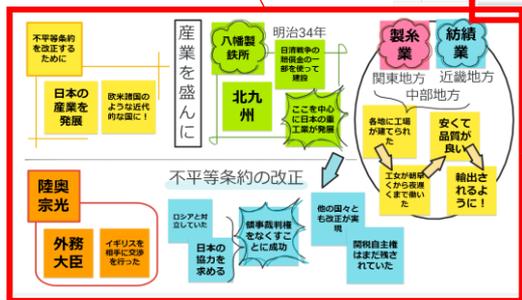
よりよい修正した考え (参考にした数とその記述の部分に分かるように)

日本は欧米のような近代的な国づくりをするために製糸業や紡績業を盛んにし、各地方に工場をつくり、各地方で盛んな工業になった。そして、アジアで最も盛んな工業になった。日本は欧米諸国に追いつき経済的地位が向上した。また陸奥宗光がイギリスと交渉し、条約の一部を改正して領事裁判権をなくすことに成功した。他の国々とも条約が改正された。

日本は欧米諸国のような近代的な国にするために、各地に工場をつくり製糸業や紡績業を盛んにさせた。そして、産業を発展させたことで、陸奥宗光がイギリスと交渉し、条約の一部を改正して領事裁判権をなくすことに成功した。

「不平等条約の改正させるには。」と考え、製糸業と紡績業を盛んにし、作られた糸は輸出され、アジアで最も盛んな工業になる。日本の工業を発展させたことで、領事裁判権をなくすことができた。イギリスと交渉ができ、不平等条約の一つである領事裁判権を改善することができ、海外との差を少しでも、縮めることができた。宗光さんの、海外との平等に近づいたというところを参考にした。

不平等条約を改正するには日本は産業を発展させる必要がある。そこで製糸業や紡績業などの工業を各地で作った。そして、日本はアジアで最も工業の力がある国になる。日本の産業が大きく発達した。日本が発展していくが、陸奥宗光はイギリスと交渉を行い、条約の一部の改正に成功するといふ大きな変化があった。



友だちの考えをみたり友だちとの話し合いを通してジャムボードに情報を付け加えたり、再整理する

授業を通して自分の考えを更新